

湖岸エリア

○エリアの特性

- ・琵琶湖観光、環境学習の玄関口
- ・琵琶湖の自然環境、景観が広がる
- ・江戸期に港町として栄えた歴史的・文化的背景
- ・観光交流施設が集積

○関連の動き：

「美の滋賀」の発信

- ・滋賀県において平成22年度に『美の滋賀懇話会』を設置。
- ・「地と知の力」が生み出した「美の滋賀」を発信することにより、滋賀の魅力をより一層高め、県民の誇りを育てていくことを目的としている。
- ・対象としている「美」とは、びわ湖ホールや近代美術館などの先端的な芸術の美に限らず、琵琶湖や里山などの自然や環境の美、神と仏の美や行事といった暮らしに根付いた日常の美も含む。
- ・具体的な取組みとしては、美術館による展示や街中で展覧会やワークショップの開催、芸術家・芸術関係者の発掘・育成や伝統芸能の継承を目的とした事業を行う拠点をつくること、また、公園や商店街、街中の空き家などを舞台としたプロジェクト型の展覧会を行うなど、街中での美のプラットフォームづくりを進めていくこととしている。

○方向性

- ・なぎさのテラスの基本コンセプトである「観光と環境機能」の充実
- ・『うみのこ』の発信基地として環境発信の玄関口の機能の強化
- ・『エコ・文化（アート）』をコンセプトとして「湖岸エリアの魅力づくり」を進める
- ・水、賑わい（水辺の近くで楽しめる場所やここでしか体験できない）の要素を充実

○主な施策・事業（予定）

- ・エコセンタープロジェクト
- ・湖岸エリア・アートプロジェクト（湖岸エリアをアートで彩る）
- ・湖岸公園を活用したイベント等のソフト事業